

政策1 自分らしさを大切に育てる子供を育てます

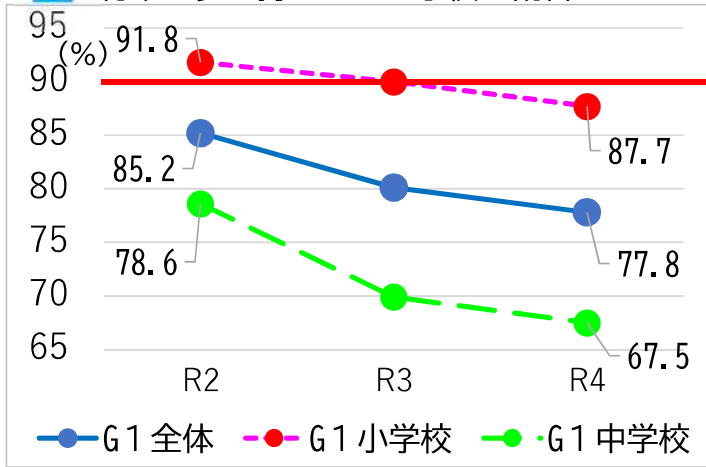
施策1-1 自分らしい生き方の実現のための教育

資料2-1

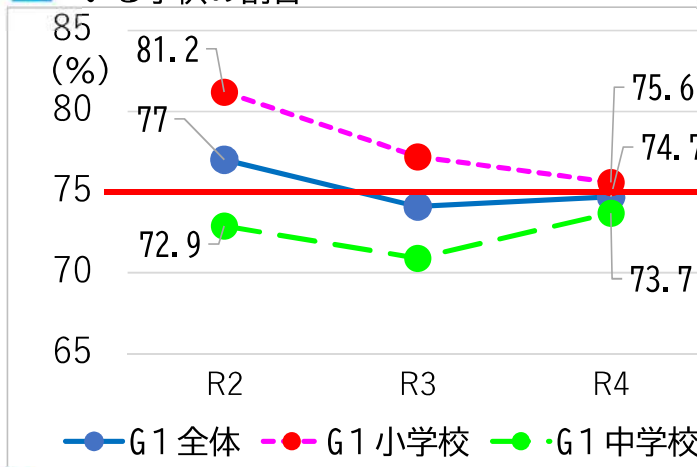
R5年度予算 826,000円



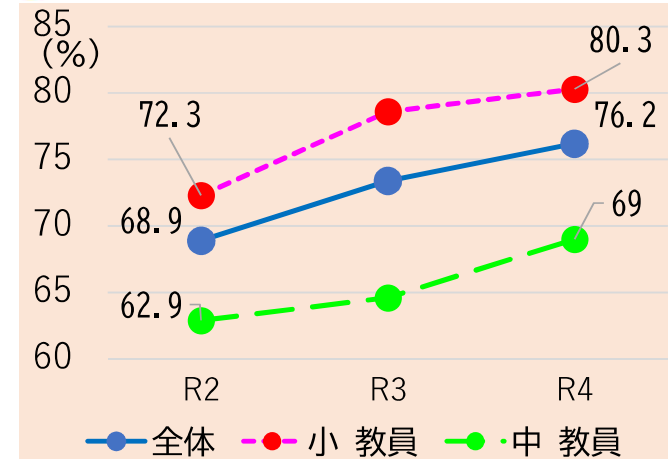
将来の夢を持っている子供の割合



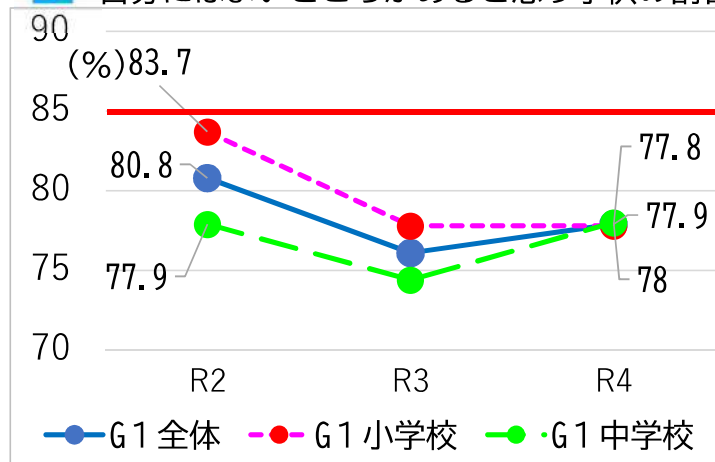
自分のよいところを生きながら活動している子供の割合



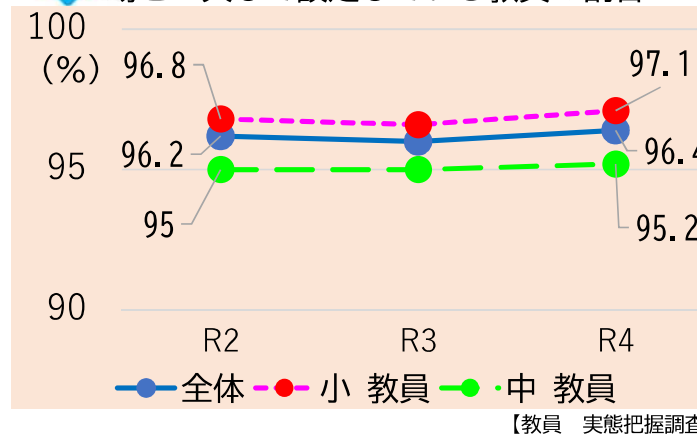
キャリア・パスポートの活用について肯定的に回答した教員の割合



自分にはよいところがあると思う子供の割合



子供一人一人がよさを発揮できるよう、場を工夫して設定している教員の割合



質問項目「子供が、子供同士や大人と対話的【教員 実態把握調査】に関わり、成長を促すことができるよう、キャリア・パスポートを活用していますか」

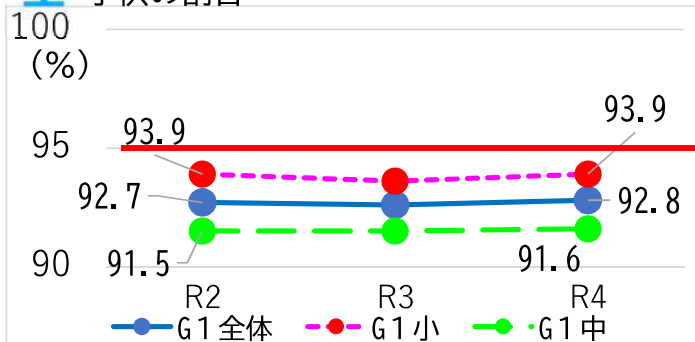
将来の夢や自分のよいところに関する項目は、小中学校ともに低下。全国学力・学習状況調査においても全国的に低下。コロナ禍による生活環境などの変化や発達段階の影響などが推測。
本市の数値は全国に比べて高い。
教員が子供一人一人がよさを発揮できる場の設定をしたり、キャリア・パスポート活用が進んでいる。

【教員 実態把握調査】

政策2 夢と希望を持ち続ける子供を育てます 施策2-1 郷土愛や「やらまいか精神」の醸成

R5年度予算 107,126,000円

指 自分が住んでいるまち（地域）が好きな子供の割合



参 市立高等学校における浜松市内企業、団体等の講話実施

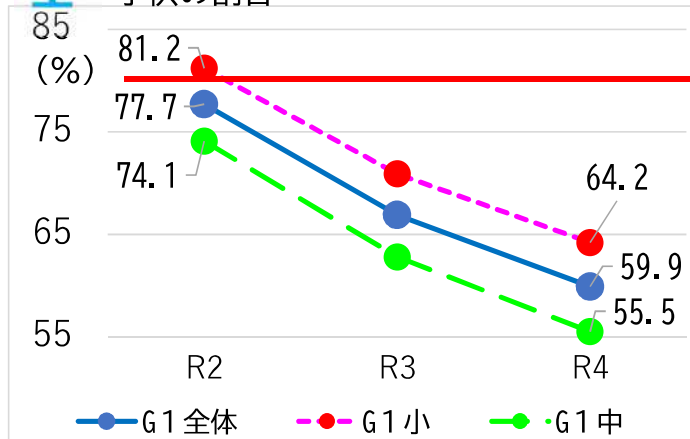
「浜市総合講座」

<R4年度参加企業>

エンシュウ
浜松いわた信用金庫
遠州鉄道
静岡銀行
知久屋
聖隷病院
共和レザー
第一生命
JAとぴあ
エンケイ
アリアス税理士事務所
杏林堂 等



指 住んでいる地域の行事に参加している子供の割合



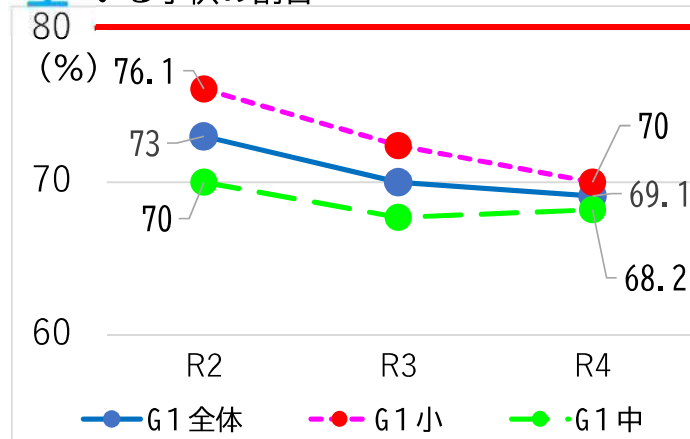
参 全市立小学校5年生への浜松市の理解や関心を高める講座の実施



市職員100人、50組が各校を訪問し、世界が抱えている問題や本市の取組事例をもとに、SDGsへの理解を深め、自分や地域のよりよい未来について自分ができることを考える。

【教育総務課】

指 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している子供の割合



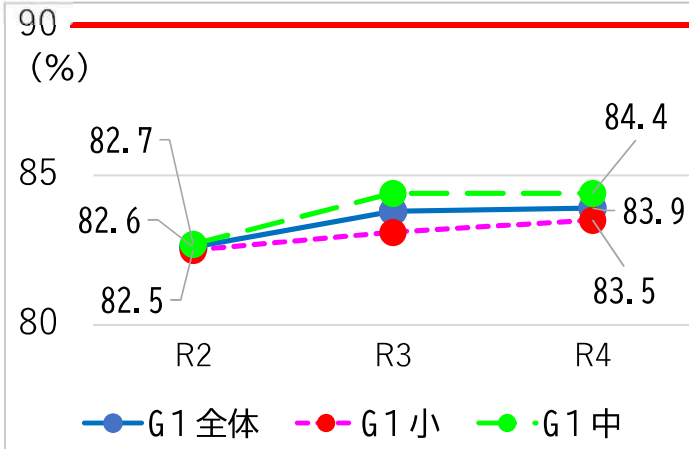
地域行事の参加に関する子供への設問では数値は低下。
郷土愛や「やらまいか精神」の醸成を図るために、積極的に地域住民・地元企業と連携した体験活動などの取組や地域の魅力を発見する機会や地域の将来を考える機会を設ける機会の設定に関する数値は上昇。

政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

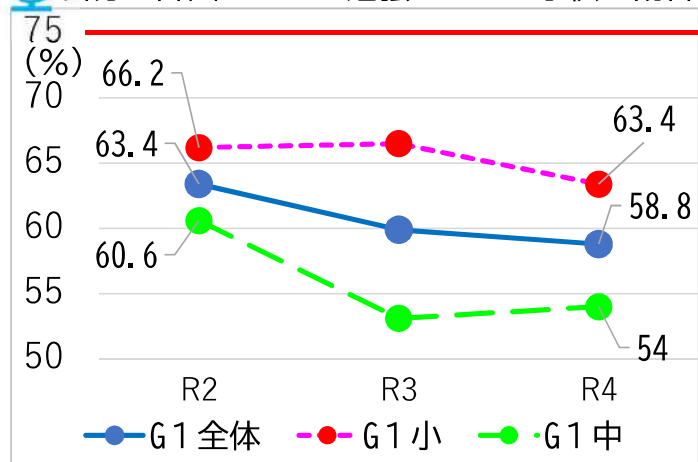
施策3-1 確かな学力の育成

R5年度予算 4,214,000円

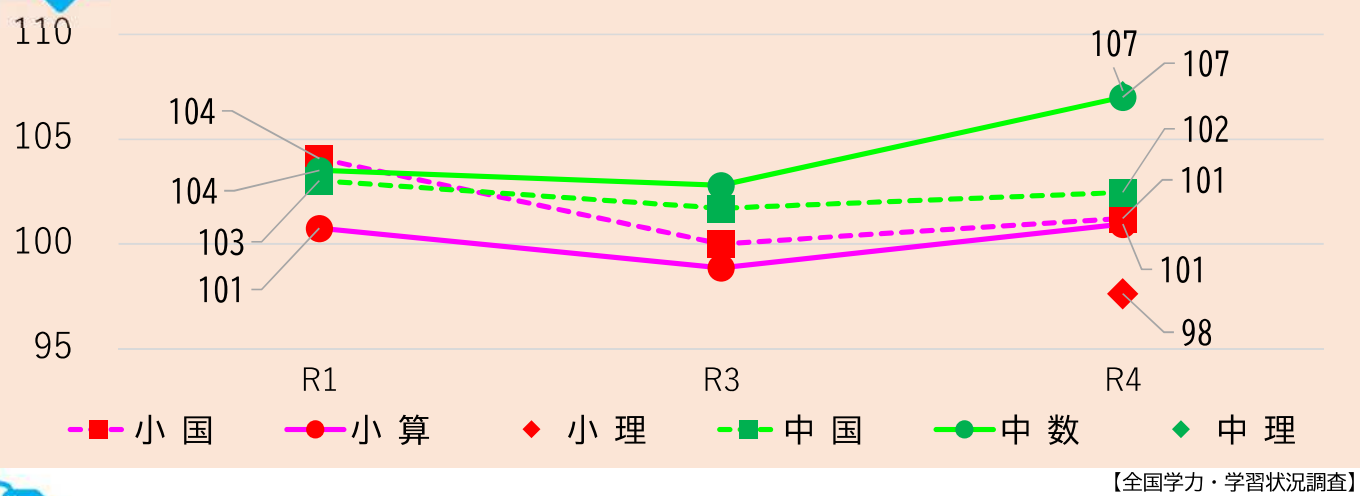
指 自分が決めたことは最後までやり遂げようとしている子供の割合



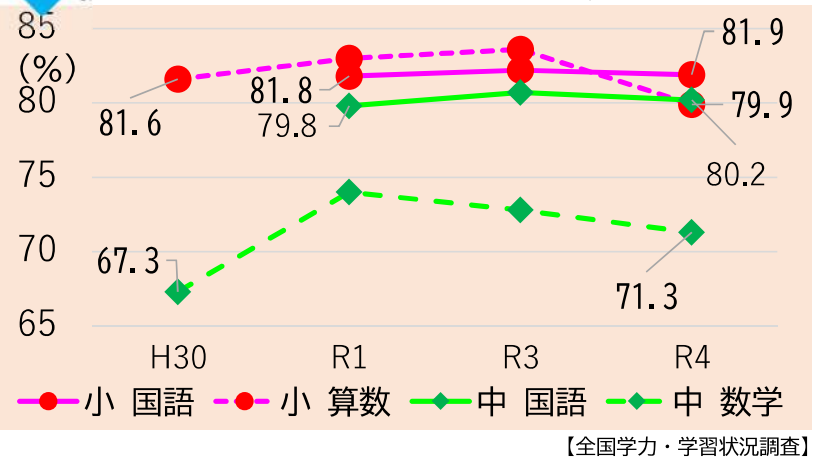
指 自分で計画を立てて勉強している子供の割合



参 全国学力・学習状況調査結果の推移 (毎年の全国平均値を100とした際の割合を示している)



参 授業の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合



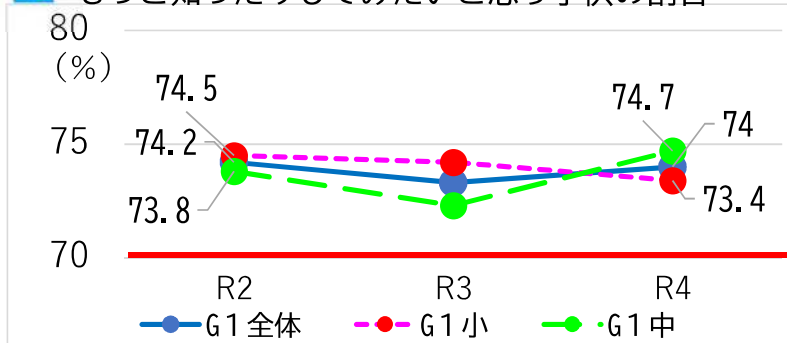
「自分で決めたことは最後までやり遂げようとしている」子供の割合も8割以上の高い数値で推移。
 「自分で計画を立てて勉強している子供の割合」が減少傾向。
 全国学力・学習状況調査の結果は、小学校理科を除き、全国平均を上回る。
 「授業の内容がよく分かる」と回答した子供の割合は中学校数学を除いて約8割の高い数値で推移。

政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

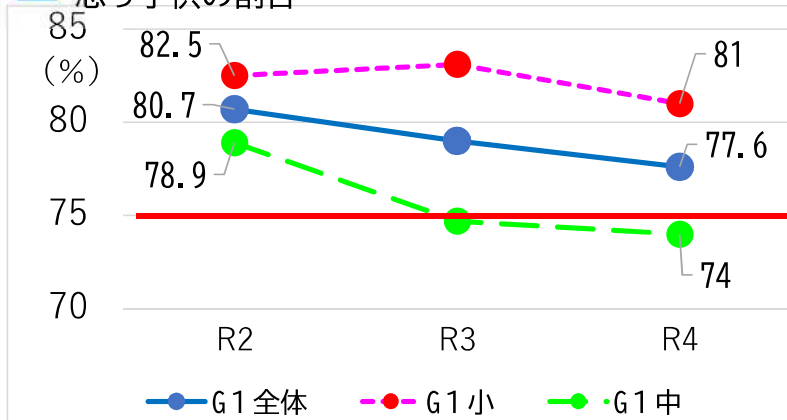
施策3-2 グローバル社会で活躍できる人材の育成

R 5年度予算 237,475,000円

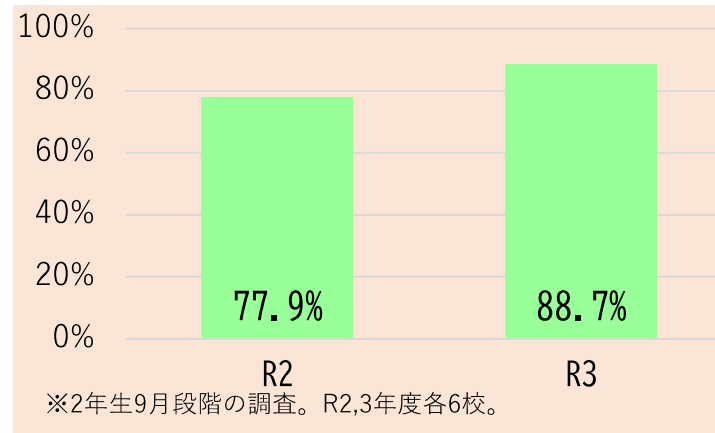
指 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子供の割合



指 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う子供の割合



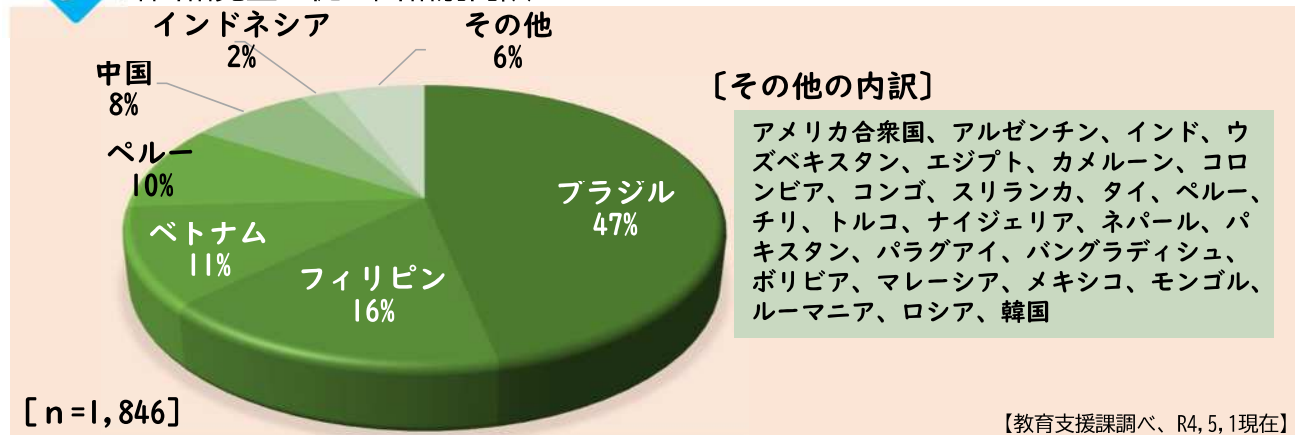
参 中学校2年生段階でCEFRのA1レベル相当以上の生徒の割合



【指導課】

外国への興味・関心及び外国人に日本や住んでいる地域のことをもっと知ってもらいたいと思う子供の割合に対する成果指標は達成。
対象中学校2年生「CEFRのA1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合」は高いが、外国人に日本や住んでいる地域のことをもっと知ってもらいたいと思う子供の割合は、特に小学校において減少している。

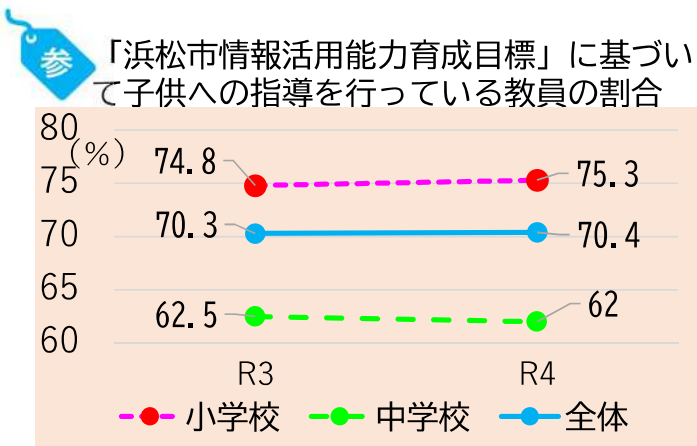
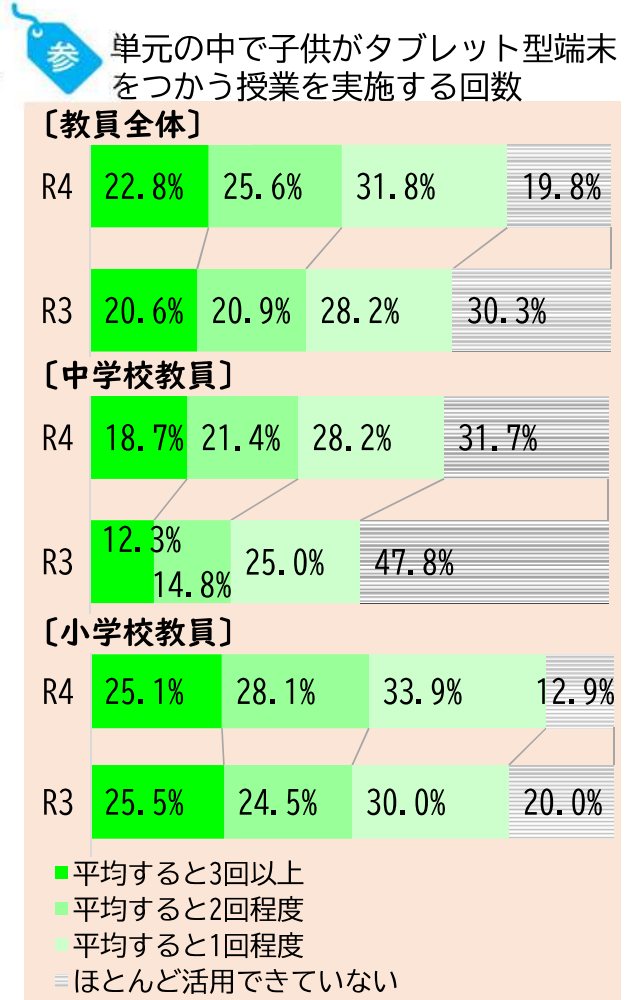
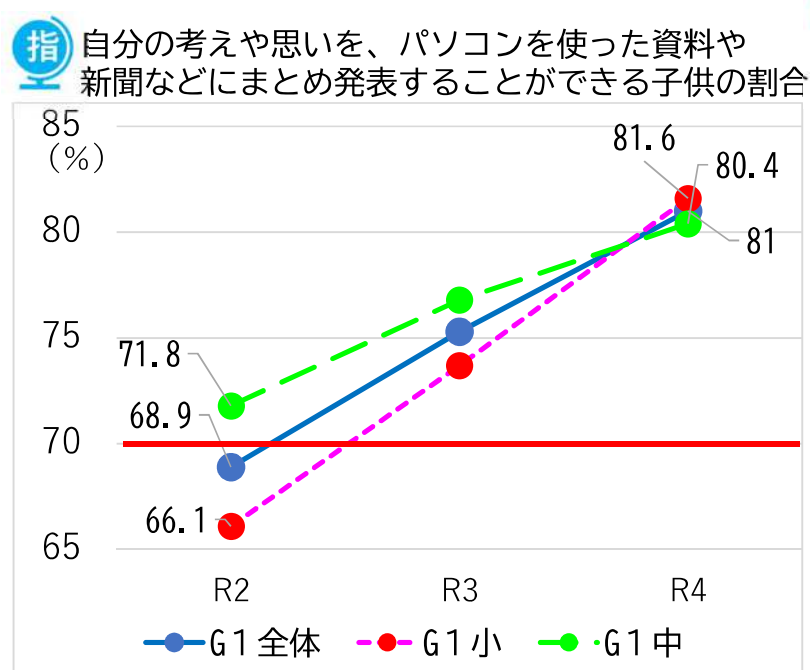
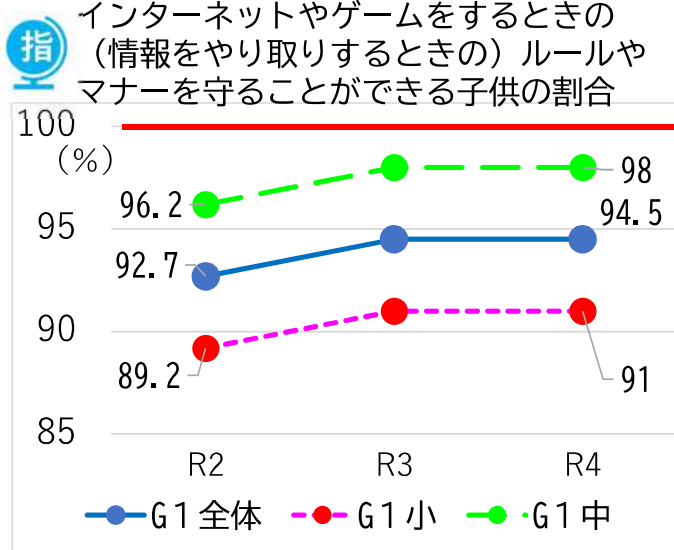
参 外国籍児童生徒の国籍別内訳



政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

施策3-3 情報社会を生きる能力の育成

R 5年度予算 16,150,000円



【教員 実態把握調査】

約9割を超える子供がインターネットやゲームをするときのルールやマナーを守ることができていると回答。
 授業でのタブレット型端末の活用が増え、「自分の考えや思いをパソコンを使った資料や新聞などにまとめ発表することができる子供の割合」は年々上昇し、成果指標を達成。

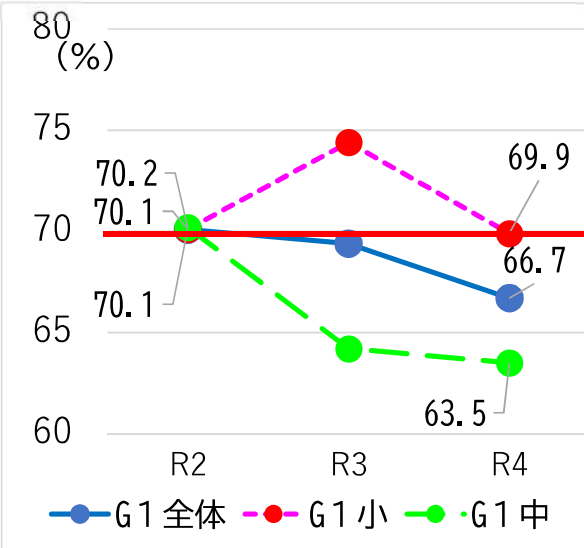
【教員 実態把握調査】

政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

施策3-4 持続可能な社会実現のための教育

R5年度予算 14,112,000円

指 地域や社会をよりよくすることを考えることがある子供の割合



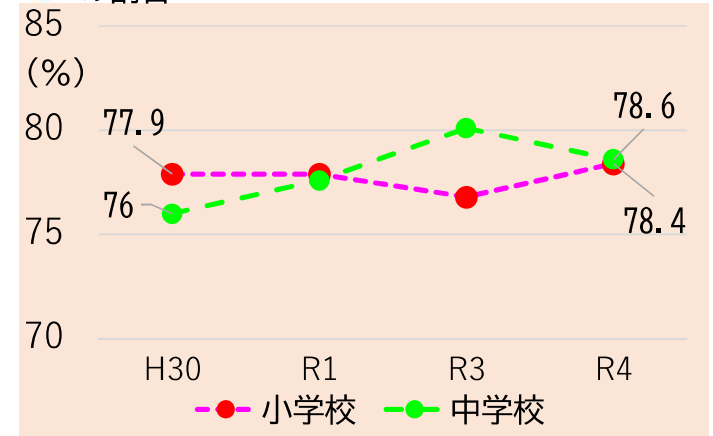
「地域や社会をよりよくすることを考えることがある子供の割合」は、中学校において減少傾向。

教員が「単元構想の中に、地域や社会をよりよくするための視点を取り入れている教員の割合」は微増。

「授業で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合」は小中学校ともに約8割の高い数値で推移。

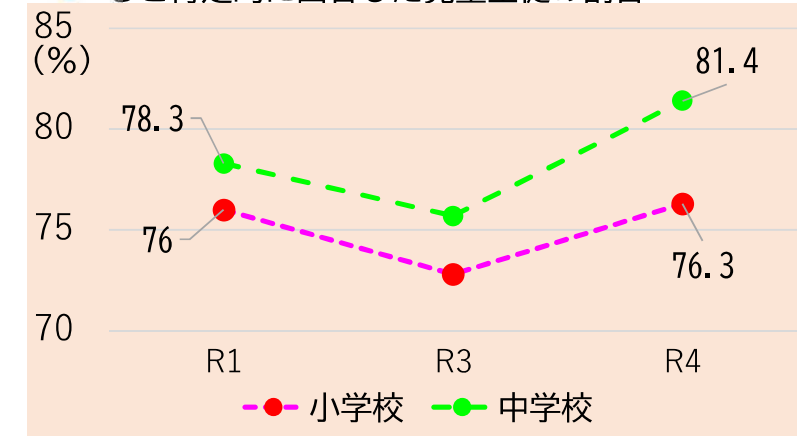
「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている児童生徒の割合」は中学校で著しく上昇。

参 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童生徒の割合



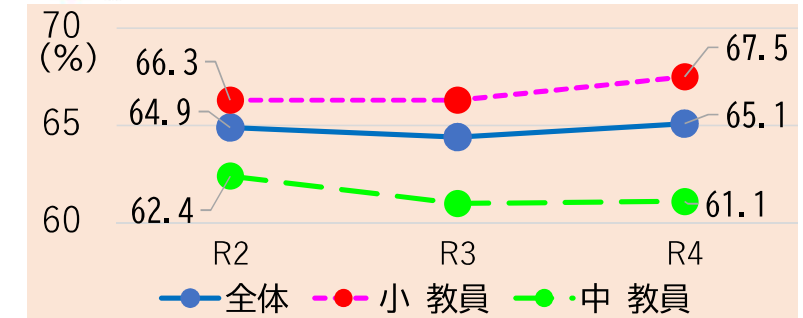
【全国学力・学習状況調査】

参 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると肯定的に回答した児童生徒の割合



【全国学力・学習状況調査】

参 単元構想の中に、地域や社会をよりよくするための視点を取り入れている教員の割合



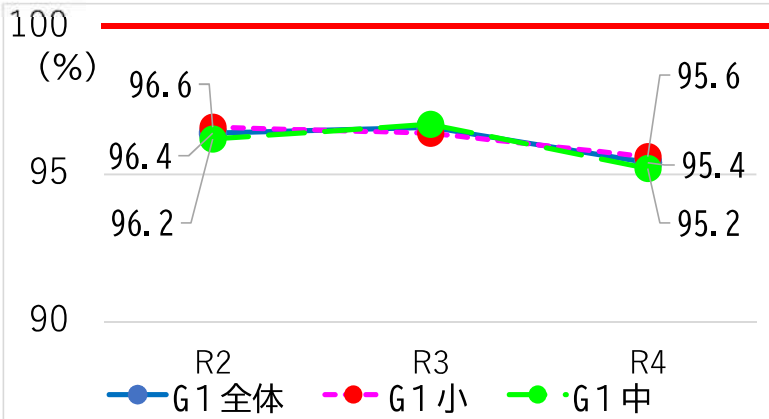
【教員 実態把握調査】

政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

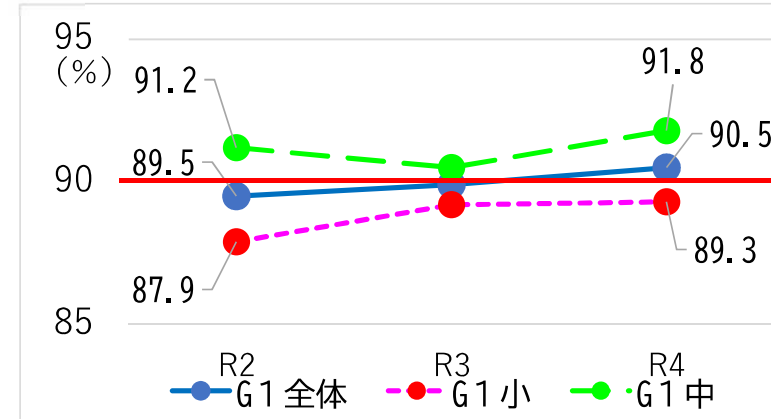
施策3-5 豊かな心の育成

R 5年度予算 21,593,000円

指 いじめは、どんな理由があってもいけないこと
だと思う子供の割合

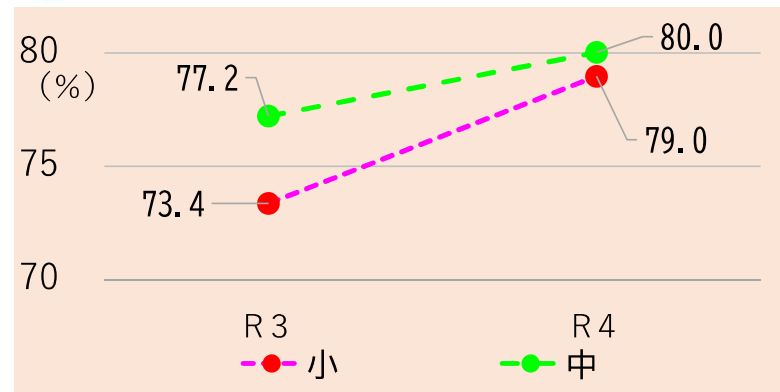


指 人が困っているときは、進んで助けている子供の割合



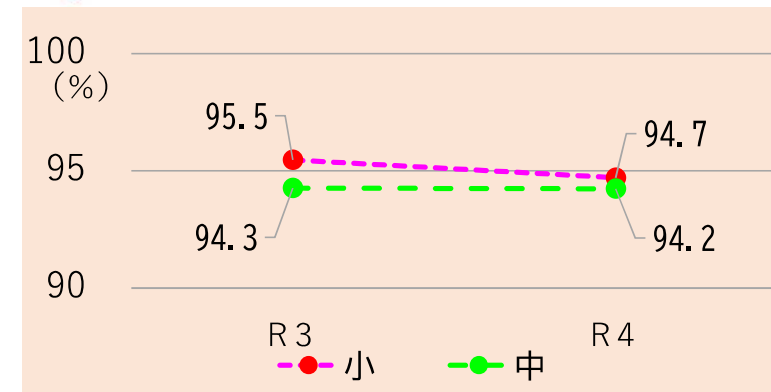
仲間と協働して活動することにやりがいや良さを見出している児童生徒の割合は高い値で推移。仲間の考えを受け入れながら多様な考えに触れる喜びを感じている児童生徒の割合も増加。

参 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について肯定的な回答をした児童生徒の割合



【全国学力・学習状況調査】

参 「友達と協力するのは楽しいと思いますか」について肯定的な回答をした児童生徒の割合



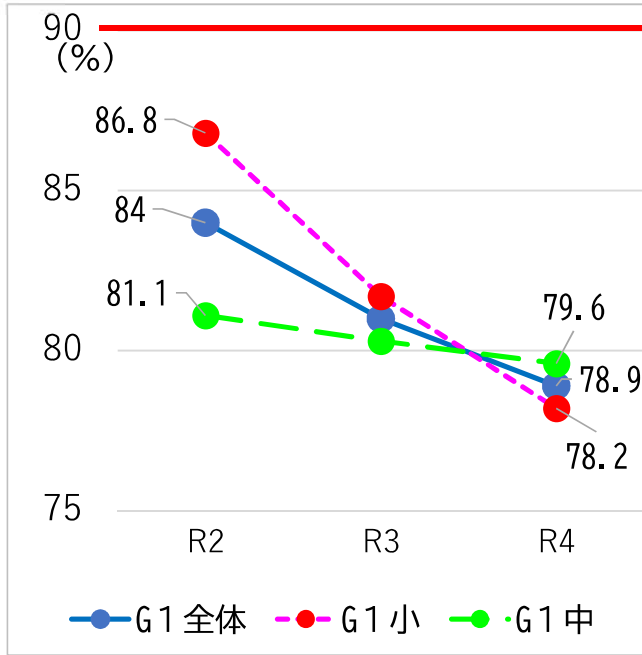
【全国学力・学習状況調査】

政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

施策3-6 健やかな体の育成

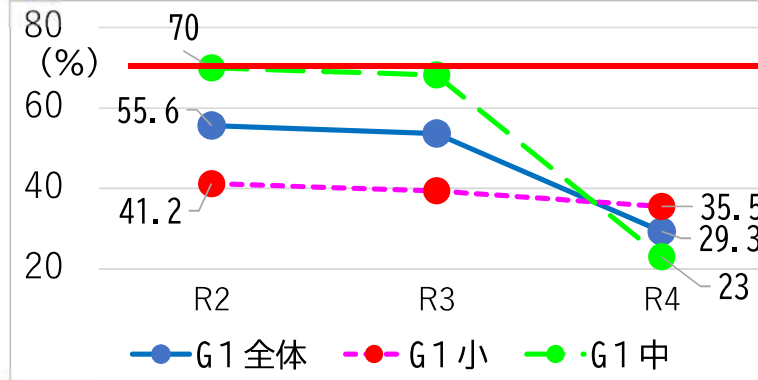
R5年度予算 466,336,000円

指 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きな子供の割合

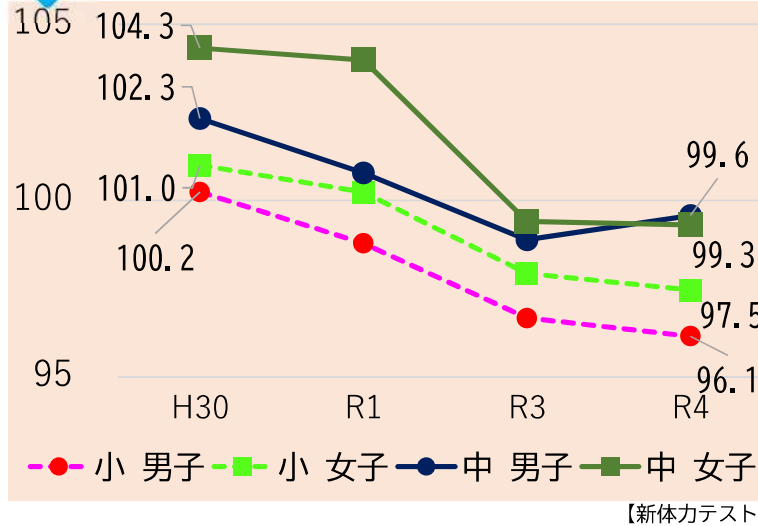


運動能力、運動やスポーツに親しむ心とも数値が低下。
朝食の喫食率や、規則正しい起床就寝など生活習慣の確立した子供の割合が高い値で推移。

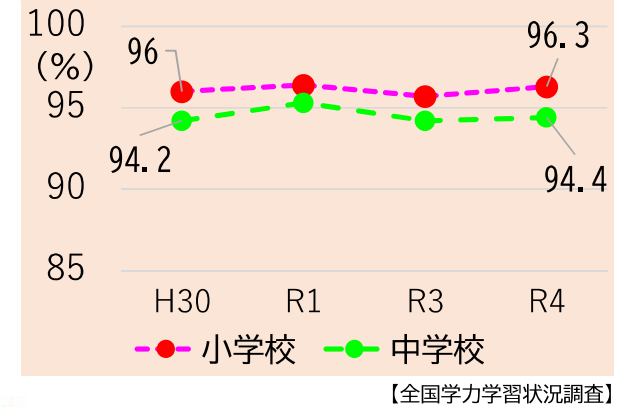
指 体育の授業以外で、平均して1日に1時間以上体を動かす活動をしている子供の割合



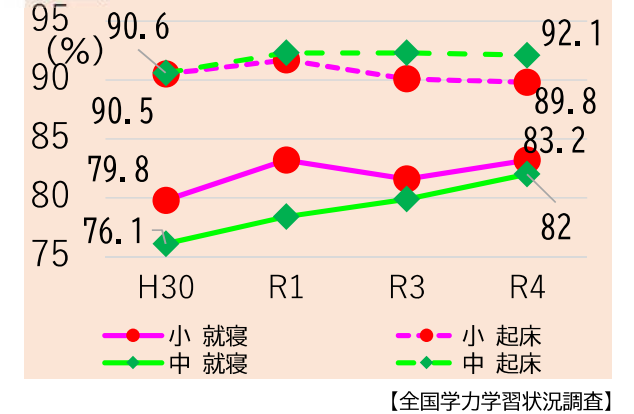
参 新体力テストの結果の推移
(H30の全国の値を100とした際の割合を示している)



参 朝食を毎日食べている児童生徒の割合



参 決まった時刻に起床・就寝している児童生徒の割合

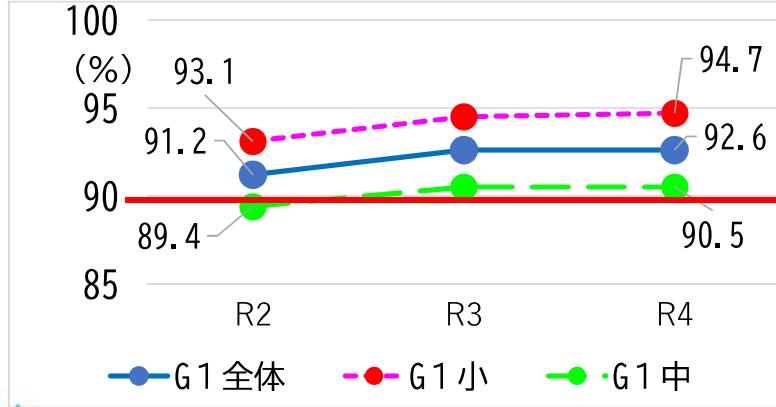


政策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供を育てます

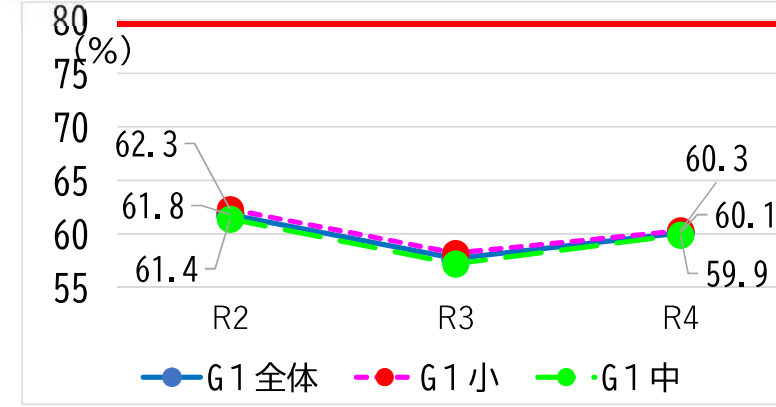
施策3-7 災害や事故から命を守るための教育

R5年度予算 2,505,000円

指 学校にいるときに地震が起きたら、どのように避難するか知っている子供の割合

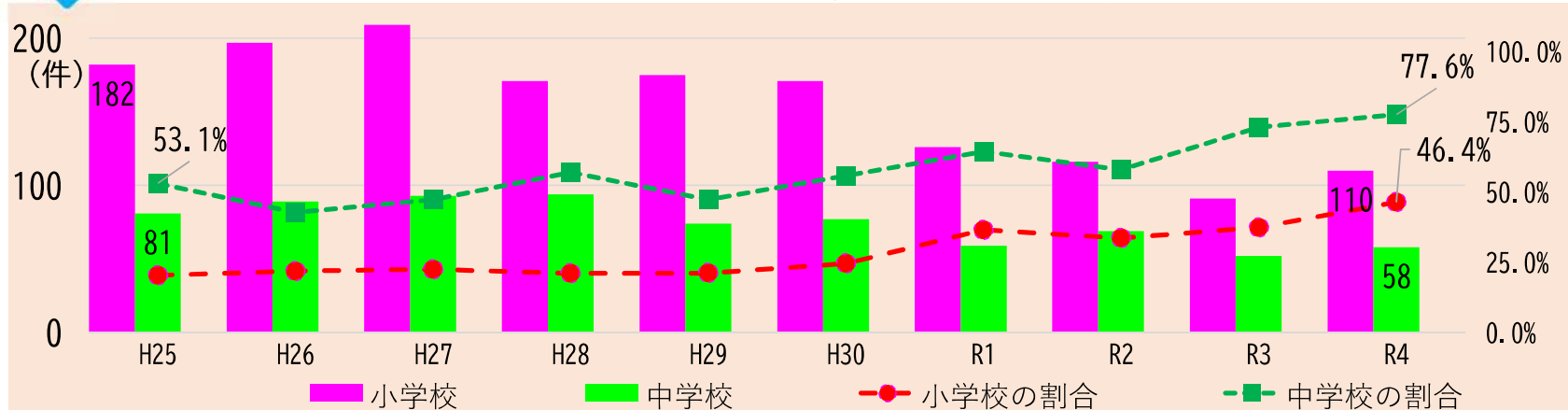


指 災害が起こったときのことについて家族と話し合った子供の割合



地震時の避難方法を知っている子供の割合は微増し、成果指標を達成。
 家庭での災害に関する話し合いの項目について、子供は約6割と停滞。
 交通事故件数は減少傾向だが、登下校中における交通事故割合は増加傾向。
 ※交通事故件数は、「学校管理下の有無に関わらず、学校が把握した交通事故件数」であるため、登下校以外の交通事故件数も含まれる。

参 浜松市立小中学生の交通事故件数と件数に対する登下校中における交通事故の割合



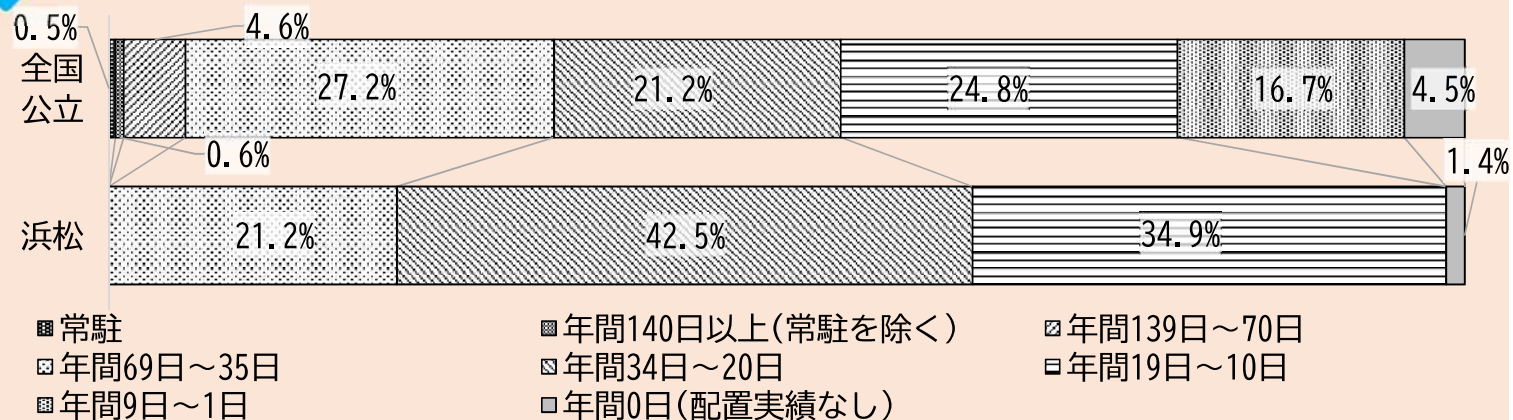
【健康安全課調べ】

政策4 一人一人の可能性を引き出し伸ばします

施策4-2 教育相談支援体制の充実

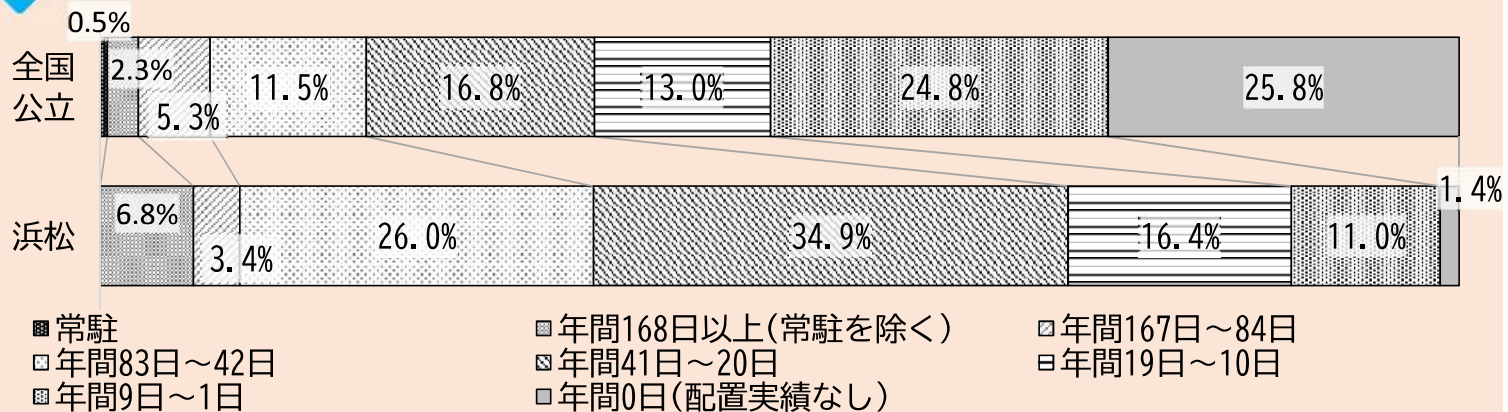
R5年度予算 207,495,000円

参 SC (スクールカウンセラー) の活動日数別学校数の割合



【令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査】

参 SSW (スクールソーシャルワーカー) の活動日数別学校数の割合



【令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査】

政策4 一人一人の可能性を引き出し伸ばします 施策4-3 不登校児童生徒の状況に応じた体制づくり

R 5年度予算 118,364,000円

校内まなびの教室の開設数及び利用者

年度	H30		R 1		R 2		R 3		R 4	
	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数
小学校	1	6	3	24	4	48	4	47	7	82
中学校	10	104	12	191	16	227	21	309	23	421
合計	11	110	15	215	20	275	25	356	30	503

【教育支援課】

校外まなびの教室の開設状況

市内10カ所に設置



【教育支援課】

不登校児童生徒のうち、相談、支援等を受けた学校外の機関

総数	受けた人数							左記で受けていない人数
1,903	941							962
	教育支援センター	教育委員会及び教育委員会所管の機関	児童相談所、福祉事務所	保健所、精神保健福祉センター	病院、診療所	民間団体、民間施設	それ以外	※複数の機関から相談、支援等を受けている場合もあり、総数は一致しない。
	229	63	134	51	628	55	26	

【令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査】

政策4 一人一人の可能性を引き出し伸ばします

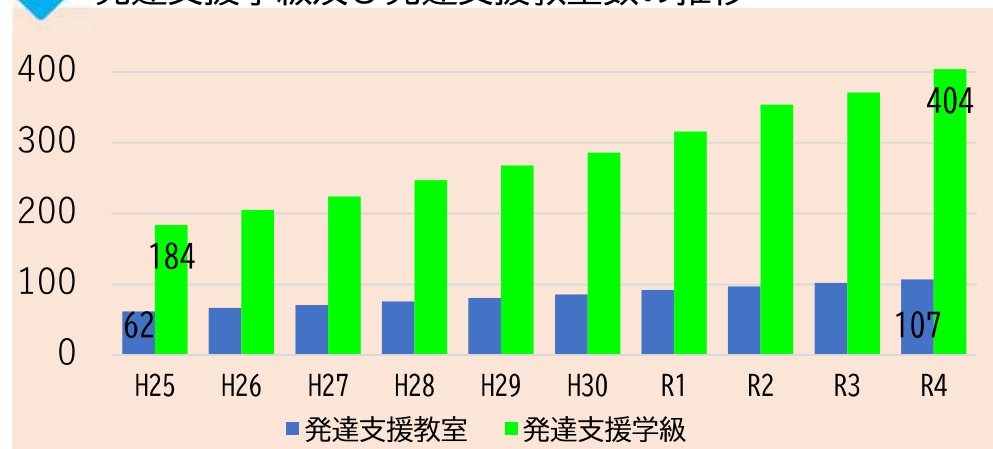
施策4-4 障がいのある子供への支援の充実

施策4-5 外国人児童生徒等への支援充実

R 5年度予算 289,649,000円

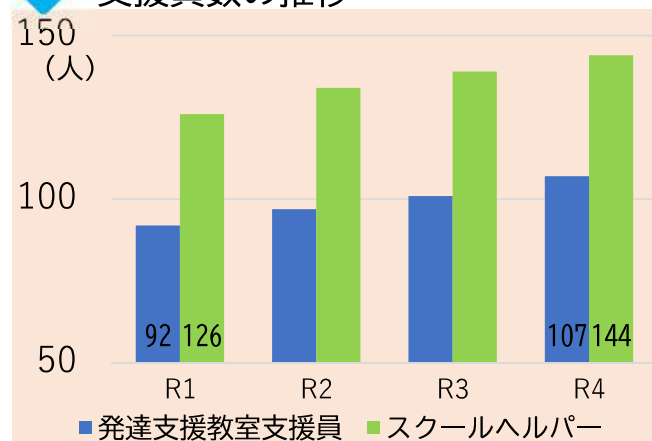
R 5年度予算 225,135,000円

参 発達支援学級及び発達支援教室数の推移



【教育支援課】

参 支援員数の推移



【教職員課】

発達支援学級数は年次増加。
発達支援教室を増やし、発達支援教室支援員及びスクールヘルパーの配置数を増員し、適切な学習支援や進生活支援を実施。

参 初期日本語指導拠点校の開設



- 〔対 象〕 ・中学生年齢で編入かつ、初入国、または帰国・再入国を繰り返し、日本語がわからない生徒
- 〔期 間〕 ・10週間
- ・月曜日から木曜日は江南教室へ、金曜日は在籍校へ登校
- 〔指導内容〕 ・学校生活への適応指導
- ・日本語基礎指導等
- 〔利用人数〕 ・令和4年度30人

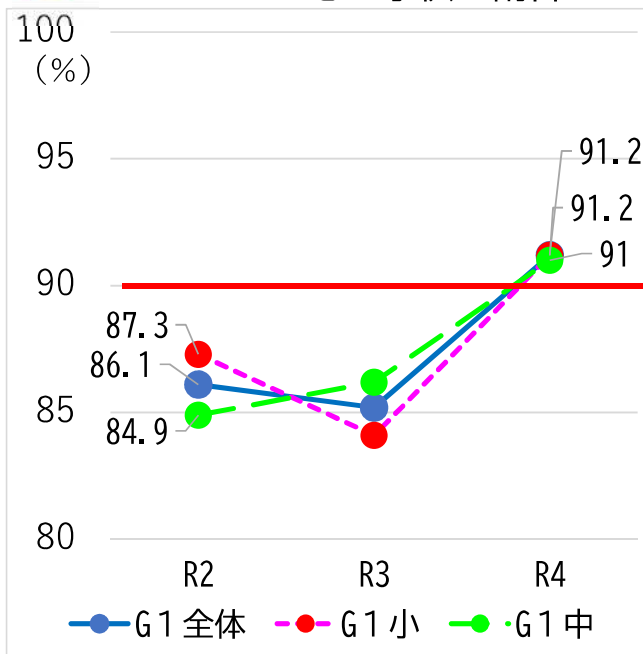
【教育支援課】

政策5 園・学校や教職員の力を向上させます

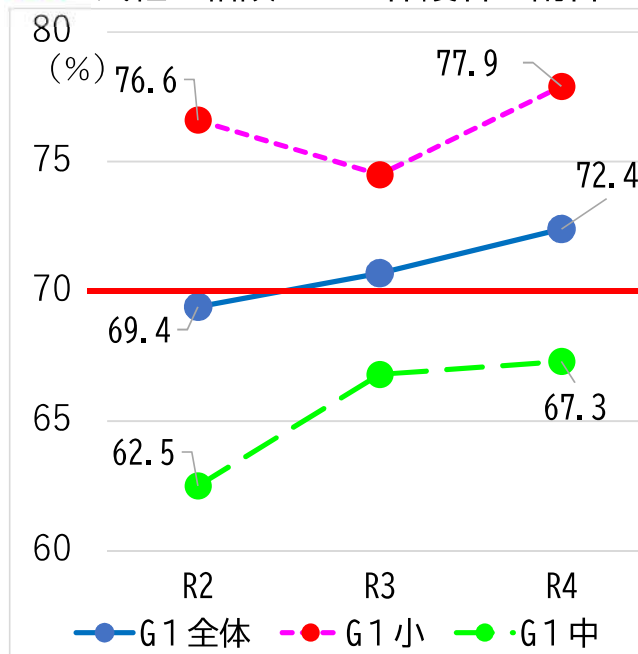
施策5-1 教職員の資質・能力向上

R 5年度予算 18,873,000円

指 先生が自分のよいところを認めてくれていると思う子供の割合



指 学校や子供に関することを教職員に気軽に相談できる保護者の割合



【保護者 実態把握調査】

参 教職員研修の充実

研修機会の確保

- ・キャリア段階に応じた研修の設定
- ・採用形態による研修機会の平準化
- ・課題に応じた研修内容の設定

研修形態の多様化

	R4	R5
集合	98	119
オンライン	43	40
オンデマンド	15	15
オンデマンドか集合の自由選択	—	5
オンデマンドと集合の組合せ	—	5

【教育センター】

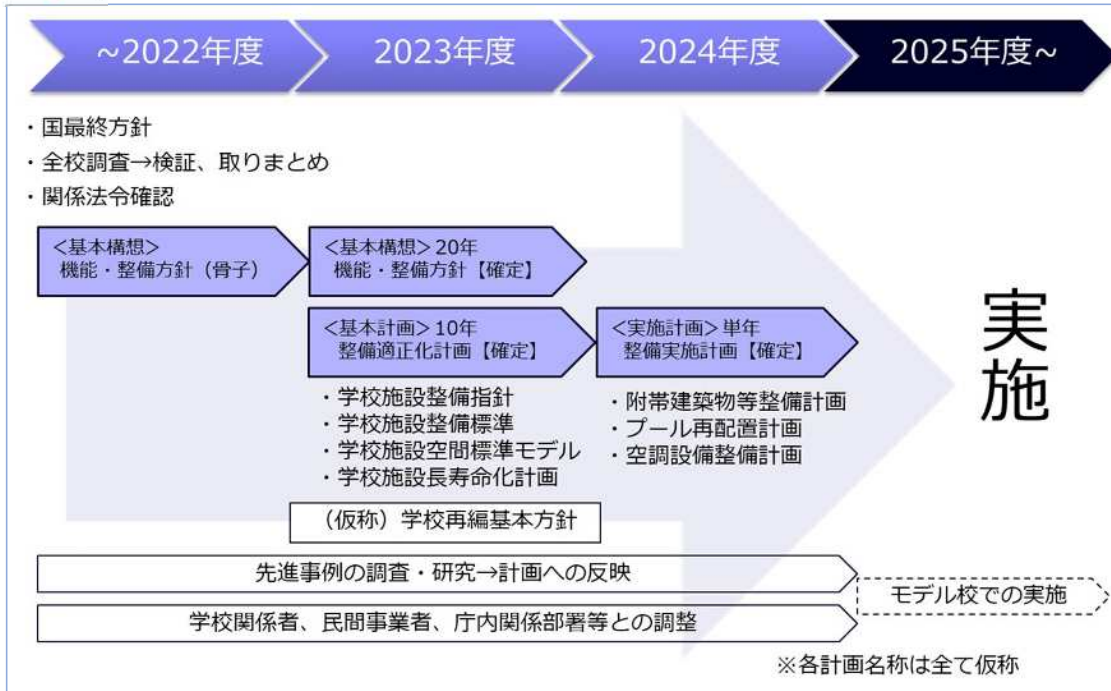
「先生が自分のよいところを認めてくれていると思う子供の割合」、
「学校や子供に関することを教職員に気軽に相談できる保護者の割合」は昨年度から数値が上昇し、昨年度に引き続き成果指標を達成。

政策6 子供の生活や学びを支える教育環境づくりを進めます

施策6-1 安全・安心で質の高い教育環境の整備

R5年度予算 7,530,244,000円

参 施設改修計画



実施

【教育施設課】

参 学校施設等のデジタル環境整備

年度	内容
R2	<ul style="list-style-type: none"> ○LAN環境（超高速インターネット接続 最大1 Gbps）の整備完了 ○教育情報セキュリティポリシーの策定 ○保護者等への緊急連絡手段のデジタル化
R3	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校児童生徒への一人一台タブレット型端末整備完了
R4	<ul style="list-style-type: none"> ○理科室や音楽室等の特別教室への無線アクセスポイントの設置完了 ○体育館用の無線アクセスポイント配備完了
R5	<ul style="list-style-type: none"> ○校長室、保健室等へのLAN環境整備

【教育施設課】

政策6 子供の生活や学びを支える教育環境づくりを進めます
 施策6-2 学びを支える人材の充実

R5年度予算 684,396,000円



支援員、補助員等の配置計画

	学校種	R1	R2	R3	R4	R5
校務アシスタント	小	97	97	96	96	96
	中	49	49	48	48	48
学習支援員 複式学級支援員	小	95	95	102	102	102
図書館補助員	小	96	96	96	96	96
	中	48	48	48	48	48
養教補助員	小	—	—	—	6	6
	中	13	13	16	13	13
生徒指導支援員	小	1	3	4	4	4
	中	4	6	7	7	7
理科支援員	小	96	96	96	96	96
外国人児童生徒 教科支援員	小	29	24	22	23	26
	中	13	14	12	13	12

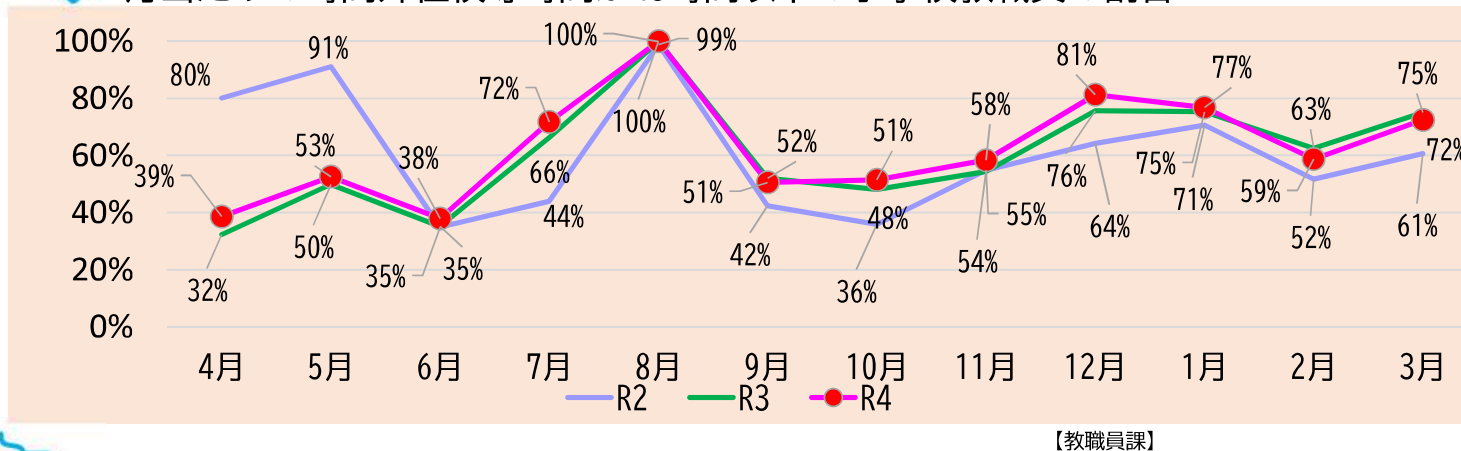
【校務アシスタント、学習支援員、複式学級支援員、図書館補助員、養教補助員、生徒指導支援員：教職員課 理科支援員：指導課 外国人児童生徒教科支援員：教育支援課】

政策6 子供の生活や学びを支える教育環境づくりを進めます 施策6-5 子供も先生も笑顔あふれる学校づくり

R5年度予算 一円

参

月当たりの時間外在校等時間が45時間以下の小学校教職員の割合



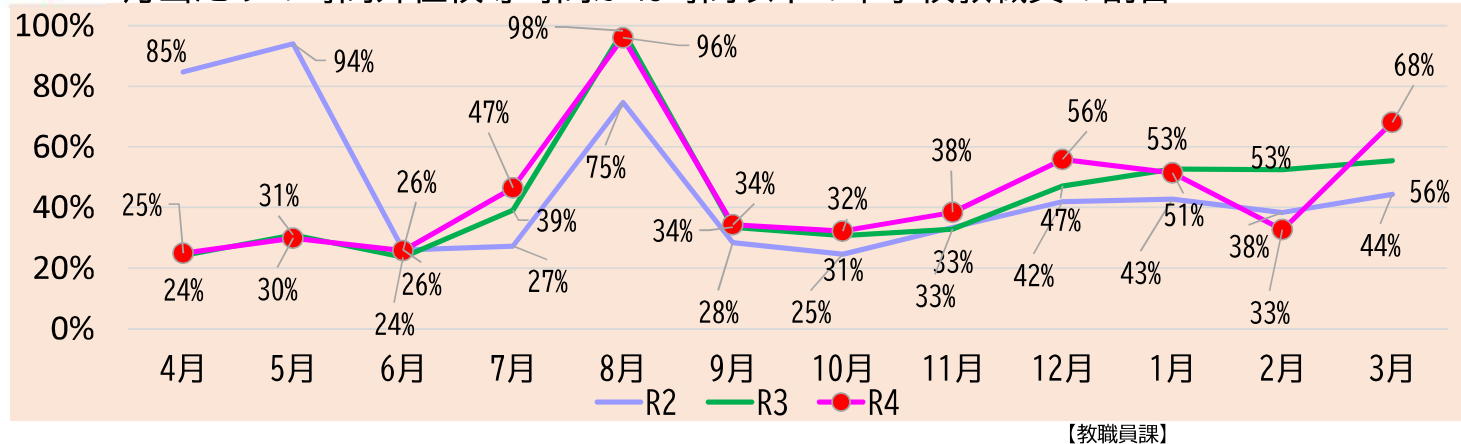
年を追うごとに、小学校、中学校とも、月当たりの時間外在校等時間が45時間以下の教職員の割合が増加。

一年を通して、小学校、中学校とも、4、5、6月の年度初めに時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合が高い。

中学校の職員の方が小学校の職員に比べ時間外在校等時間が長い傾向にある。

参

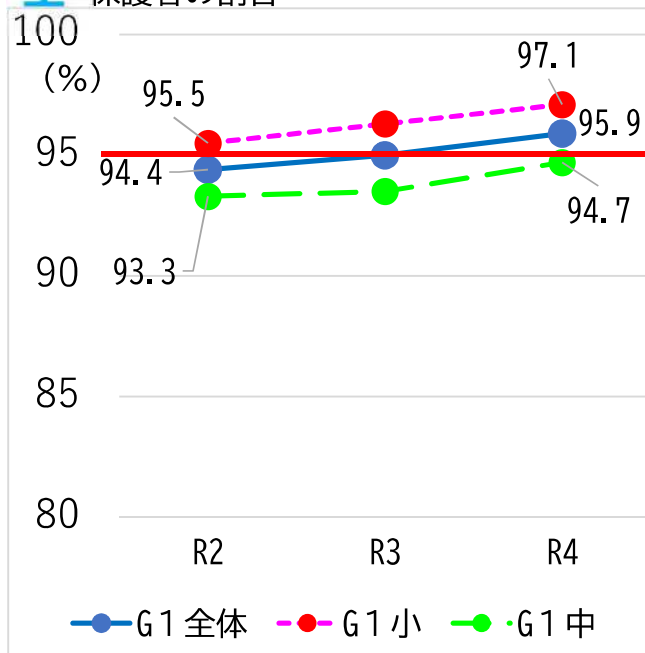
月当たりの時間外在校等時間が45時間以下の中学校教職員の割合



政策7 家庭や地域の力を生かした取組を推進します 施策7-1 家庭の教育力向上

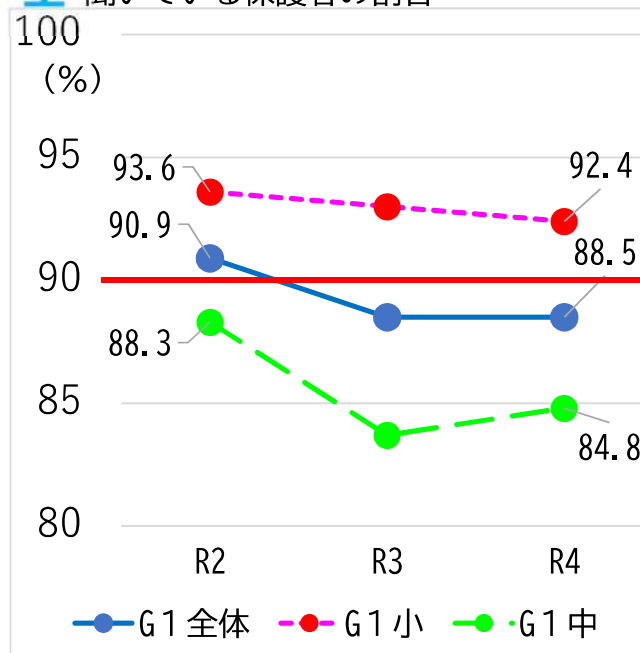
R5年度施策予算 131,270,000円

指 子供の良い表れを見つけ、ほめている保護者の割合



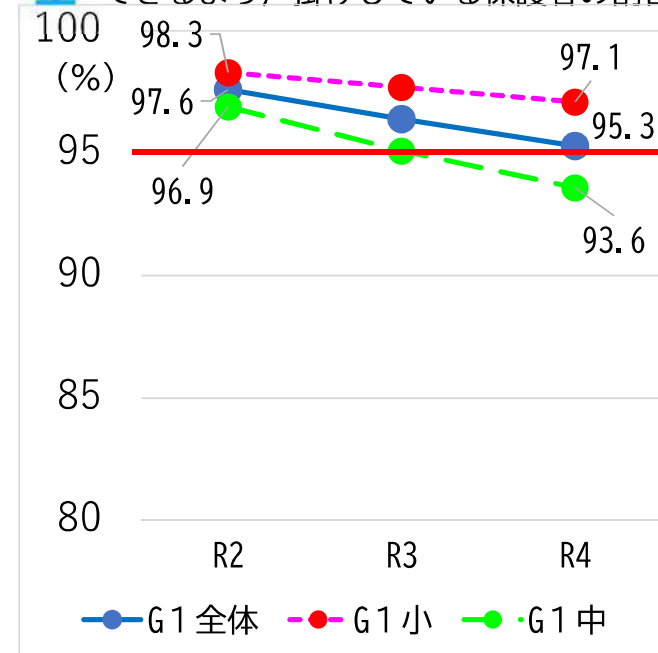
【保護者 実態把握調査】

指 一日の出来事について子供から話を聞いている保護者の割合



【保護者 実態把握調査】

指 子供が、規則正しい生活を送ることができるよう声掛けしている保護者の割合



【保護者 実態把握調査】

「子供の良い表れを見つけ、ほめている保護者の割合」は数値の上昇が見られ、成果指標を達成。

「子供が、規則正しい生活を送ることができるよう声掛けしている保護者の割合」は数値の減少が見られるが、成果指標は達成。

一日の出来事についての会話の項目で、保護者は約9割を超えているが、子供は小学生約8割、中学生約7割であるため、保護者と子供の認識に差。

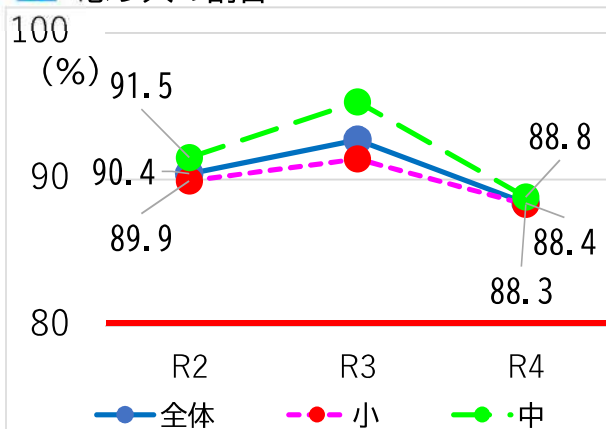
政策7 家庭や地域の力を生かした取組を推進します

施策7-2 地域との連携・協働の推進

R5年度施策予算 1,470,169,000円

指

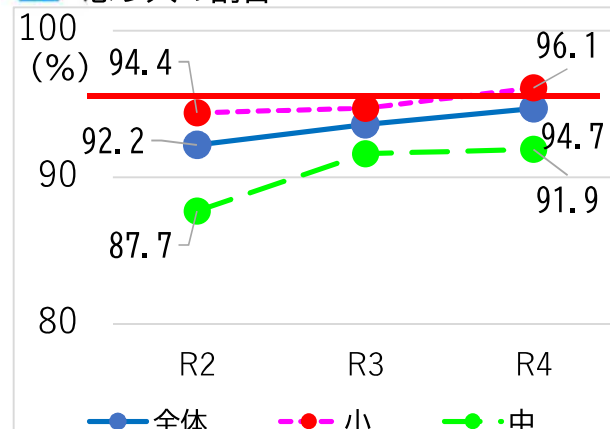
ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供の教育に関わる人が多いと思う人の割合



【地域住民 実態把握調査】

指

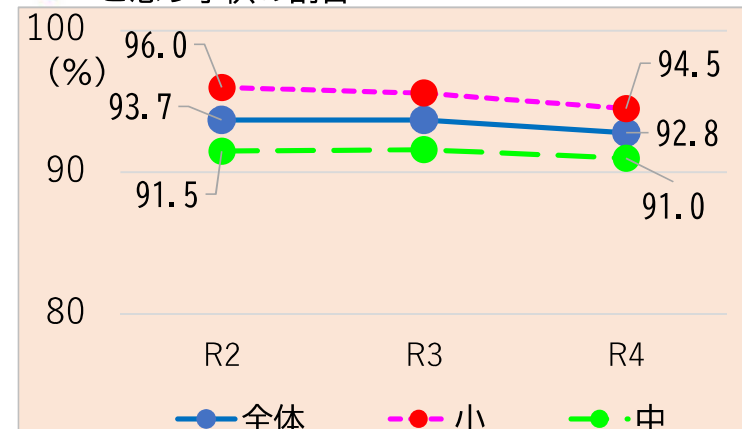
学校は、地域の人材や素材などを積極的に活用した教育を行っていると思う人の割合



【地域住民 実態把握調査】

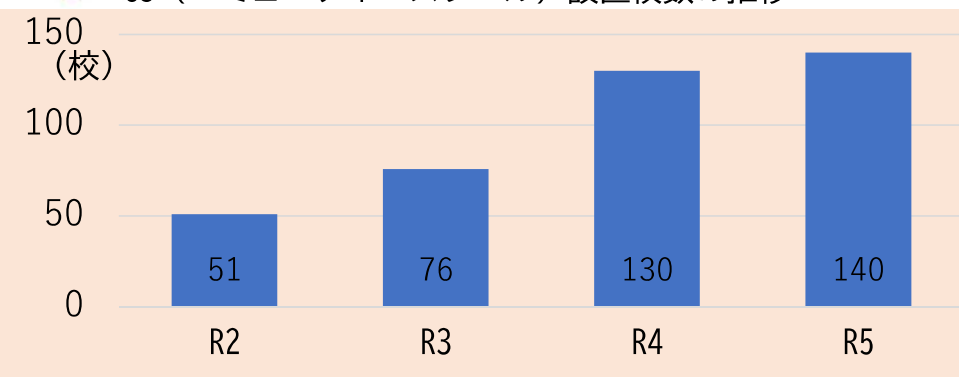
参

家族や地域から学ぶことは、自分のためになると思う子供の割合



参

CS (コミュニティ・スクール) 設置校数の推移



【教育総務課】

約9割の学校においてコミュニティ・スクールを導入。

「地域の人材や素材などを積極的に活用した教育を行っていると思う」地域住民の割合が上昇。

「ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供の教育に関わる人が多い」と思う人の割合は令和3年度から減少しているが、成果指標は達成。